

◆レポート記載要領（必ずお読みください！）◆

本レポート作成の目的は、前回の研修修了以降、あなたがどのような実践や研鑽を積み上げてきたか、以下のポイントを踏まえて、自らのソーシャルワーク実践を価値・知識・技術に照らして検証することとしています。

- ・精神保健福祉士としての専門性を点検する
- ・日々の実践における課題を明確にする
- ・各地域や都道府県協会・支部等での後進育成について考える

【作成上の留意点】

- ・全ての項目（記載欄）は記入必須です。項目2、3は示された作成文字数にも留意してください。
- ・所属機関名は「所属がない」「受講者名簿へ記載を希望しない」等の場合、記入しなくても結構です。
- ・本レポートは、前回の研修修了以降の**自身の実践・活動の振り返り等を総括いただくもの**です。そのため、個々の事例によらないまとめをしてください。
- ・レポートには、下記の設問項目に**応える内容が書かれているか**、留意して作成ください。

〈項目1. 意識して取り組んだ役割や活動〉

前回の研修修了以降、「(研修)認定精神保健福祉士」として、精神保健福祉士の質の維持・向上にどう努めてきたか、**あなたが取り組んだ役割・地域活動の振り返りや意識の変化**を記入してください。

役割や活動には、生活者としての地域活動（ボランティア活動、育児サークルの運営など）や、「所属機関地域や居住地域等での活動、都道府県協会・支部活動への参画、各団体での役割、ソーシャルアクションなど」の取り組みも含まれます。

〈項目2. あなたが感じる地域課題〉

ソーシャルな視点*1に基づいて、**あなたが感じる地域課題**を記入してください。

例として、日々の業務に追われ、都道府県協会の活動に参加できていない、地域のつながりが希薄になっている人が増えていると感じる、多職種・多機関との連携、人材育成について等が挙げられます。ご自分の言葉でまとめてください。

〈項目3. 地域課題解決に向けた取り組み〉

「項目2」で挙げた**地域課題の解決に向けて**、地域へのかかわりと都道府県協会・支部等への関与（どのようにかかわっていけるとよいか）等、**自身の取り組みや考え**をまとめ、記入してください。

【レポートの取り扱い】

- ・提出された全てのレポートは、本協会研修センターで厳重に保管します。また、「実践・活動の振り返り演習」の際に演習で活用するため、受講者相互の守秘義務の徹底を呼びかけたうえで、同じグループの受講者に事前（当日）配付します。開催形態によってレポートの回収ができない場合があります。記載には十分ご注意ください。
- ・どの方（或いは全員）のレポートを採用し、検討するかはグループ内で協議いただきます。
- ・グループ内でのレポート発表時間は1人につき3～4分が目安です。
- ・本レポートは**個別事例の記載を想定しないため**、生涯研修制度共通テキスト「実践レポートの扱いに関する留意点*2」に関する項目を書式に設けていません。
- ・設問項目に**応えていない場合**や**個別事例の記載がある場合**は再提出を求めることがあります。また、再提出が2回以上となり、受講決定までに日数がない場合はご受講いただけない場合があります。

〈オンライン開催の場合〉 Zoom ミーティングでの演習という性質上、回収はできません。

〈対面開催の場合〉 原則として回収はいたしません。

提出者が回収を希望する場合は、各自の責任において、グループ内で回収してください。

*1 ソーシャルな視点：生涯研修制度共通テキスト（第2版）P123、150、244／（改訂第2版）P124、152、247 参照

*2 実践レポートの扱いに関する留意点：生涯研修制度共通テキスト（第2版）P184／（改訂第2版）P186 図Ⅲ-31 参照

実践・活動の振り返り演習のためのレポート

更

注意事項

「レポート記載要領(記載要領)」を必読のうえ、作成してください。

※記載要領に沿って作成されていない場合、再提出になりますので必ずご確認ください。

本レポートは、演習プログラムで活用するため、同グループ内の受講者に配付します。

配付したレポートの回収の考え方は、開催形態により異なりますので、記載要領を必ずご確認ください。

私は、上記の注意事項を確認したうえでレポートを作成することを、氏名の記名をもって明示します。

氏名 _____ 本協会所属支部（都道府県）名 _____ 支部 _____

構成員番号 _____ 所属機関名 _____

研修日 _____ 年 _____ 月 _____ 日 開催方法 オンライン ・ 対面

〈項目1. 意識して取り組んだ役割や活動〉

〈項目2. あなたが感じる地域課題〉 (400 字程度)

〈項目3. 課題解決に向けた取り組み〉 (400 字程度)